

2023年度 千葉市立椎名小学校 学校経営グランドデザイン

市教育委員会
第3次
学校教育推進計画
2023～2032

豊かな心を持ち、たくましく生きる
子どもの育成

子どもの実態
保護者の期待
地域の期待

<目指す学校像>

- ・ 子どもの個性を輝かせる
- ・ 保護者、地域から信頼される
- ・ 2040年の学びを視野に

<目指す子ども像>

- ・ かしこく、やる気のある子
- ・ やさしく、思いやりのある子
- ・ たくましく、自己管理できる子
- ・ 自立、自律する子

<目指す教職員像>

- ・ 子ども、保護者、地域から信頼
- ・ 教授から支援に遷移
- ・ 研修を重ね、感性・専門性を高める
- ・ エビデンスに基づく対応

<かしこく・やる気のある子>

- ・ チェンジ メーカー
- ・ 主体的に基礎学力を獲得する子
- ・ 自ら考え、試行して学ぶ子
- ・ 豊かに表現する子

<やさしく・思いやりのある子>

- ・ 相手の立場、思いを考える子
- ・ 助け合い、認め合う行動する子
- ・ 時と場に応じた言動を目指す子

<たくましく・自己管理できる子>

- ・ 心と体の健康を保つ子
- ・ 遊びや運動に進んで取り組む子
- ・ 粘り強くゴールを目指す子
- ・ 安全に生活できる子

- GIGA スクール構想
 - ・ 個別最適化, 協働的学び
 - ・ PBL 教材研究
 - ・ 指導の個性化, 学習の個別化
- キャリアパスポートの活用
 - ・ 加点方式の自己評価
- tinkering 推進
 - ・ 自らの手による試行活動
- 探究の推進(STEAM 教育)

- 人権教育の充実
 - ・ 市民教育視点の明確化
 - ・ いじめ, 不登校対応
- 社会福祉教育の充実
- デジタル・シティズンシップ教育の推進
- 特別活動の充実
- 道徳教育の充実
- 読書(Arts)の推進

- 体育科学習の充実
 - ・ めあて学習をベースにする
- 体力向上に関する活動の充実
 - ・ 体育委員会によるサポート
- 安全に関する学びの推進
 - ・ 危険予知能力, 判断力育成
- 食に関する学びの充実
 - ・ 栄養教諭, 給食委員会による学びの場

基本方針

- ・ 千葉市教育委員会 研究指定校として試行研究を行いながら、千葉市へフレームを示す。
- ・ 工業化社会の発想(効率化・暗記)から脱却し、構築主義の学びへ遷移(試行)。
- ・ 探究的な学びにつながる日常学習を試行し、学習者中心の学びを目指す。
- ・ 学校、家庭、地域との連携を密にして、信頼に応え関係性を高める。
- ・ 完全消灯日、学年ワークライフバランスが取行できるように自己マネジメント能力を高める。

2023年度 千葉市立椎名小学校 学校経営方針について

1 教育目標について

千葉市第3次学校教育推進計画は今年度から施行。

「夢にチャレンジ 未来を拓け！」を受け、本校教育目標は、「豊かな心をもち、たくましく生きる子どもの育成」の外観は変わらないが、基盤はチャレンジ(チェンジメイカー)であることに注力する。

GIGA スクール構想による、個別最適化・協働化した次代の学びを実践するため、地域性から未来を視野に入れて子どもたちが社会に立ち向かえるよう、2040年の教室をイメージ化していく。

GIGA スクール構想 = ICT 機器活用 ※日本が30年間失敗してきた発想ではなく、
GIGA スクール構想 ≡ 学びの改善へ ※勉強→学習→学び

2 目指す子ども像

校風として目指してきた子ども像に、昨年度加えた自立・自律を個人の資質の基盤とする。学年発達段階を基に、何事も自分事として考え、正面から自力で向かっていこうとする子どもを育てる。(チェンジメイカー)

3 目指す学校像

科学的根拠、個人の学習の準備状況に応じた支援・指導を実践して子どもの個性を引き出し、系統的な学習を効率化させて探究学習に軸足を遷移することを目指す。

4 目指す教職員像

公務員であることを念頭に、市民(子ども・保護者・地域住民)に信頼される取組みを行う。

- 法令遵守 (できるか・できないかではなく、やっていいか・いけないかの視点)
- 信用失墜行為の禁止 (道交法違反、窃盗・万引、わいせつ行為、体罰、情報漏えい、ハラスメント行為等)
- 分限処分の回避 (職に必要な能力・適格性を欠くことが無いようにする)

年度末の「体罰・セクハラアンケート」において申告が0となるように、アンガーマネジメント・初期(初動)対応・記録の文書化を遂行し、学級担任から学年担任への発想転換を進める。

教員は、子どもたちの発達段階や資質、地域(家庭)環境を考慮し、一斉に教え授けるという視点ではなく学びを支援することに軸足を移していく。

養護教諭・事務職・栄養教諭・技能職は、専門性を基に業務の効率化を図り、教員へ know how 提供を行う。

5 学校経営の基本方針

2022～2023 年度市教委研究指定校として、GIGA スクール構想と STEAM 教育・小学校版「教科情報」をフレーム(マイルストーン)として、思考力・判断力・表現力を向上させるための研

究を行う。昨年度と同様に、情報の消費ではなく創造に軸足を置いて学びのサポートを行う。
英国の発想と宮城教育大学附属小研究を視野に入れる。(コンピュータ・サイエンス)

2040年の教室を予測し、常にメタ認知能力を高める学びを行い、自己評価・振り返りを怠らないようにする。

振り返りツール: **わがとも**

わかったこと, がんばったこと, ともだちの意見で参考になったこと, もっとやってみたいこと

完全消灯日(行政), 学年ワークライフバランスが完全実施できるように, 計画的に業務を推進。

後日表記

学年ワークライフバランス(WLB) 学年内で月1回決めて定時退勤とする。

→ 教務主任は週報に記載する。 ※キュー処理推進

業務量の削減が困難な状態は認識しているが, 個人・学年スケジュール管理能力を高めることにより, 回避策を明確化させていく。 残業はコスト増加にもつながる。

18:30 を超えて残業をする場合は, 17:30 までに管理職へ申請, または意思表示を行う。

▽行政職, 民間企業ではコスト削減(電気代等)とメンタルマネジメントのため実施。

▽申請し決裁後残業実施, が実社会ルール ※自分の意思実施は, 計画外緊急対応のみ。

6 具体的な取組み

<かしこく・やる気のある子>

GIGA スクール構想:

系統的な学びは個別最適化された学びにて, 効率よく基礎学力向上を目指す。

→ Adaptive Learning による, 学習履歴の活用。

少人数指導, TT, 学年内授業交換, 反転学習等で, 個性的な授業を目指す。

調べ学習を精査しないと, ただの写し学習(コピー&ペースト)となる。

キャリアパスポートの活用:

メタ認知能力を育てていく。

加点方式の自己評価に遷移する。

Tinkering 推進:

いじくり回す・試行錯誤要素を取り入れて, 問題解決能力を育てる。(探究)

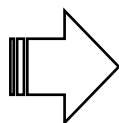
答えを教えるのではなくヒントを教えることで, 自力解決の場が奪われない。

可能な範囲で, 無意識に繰り返す方式は回避する。(古典的な勉強)

椎名小「創造」は PBL でプログラミングを取り入れた学びに軸足を置く。

STEAM 教育:

S cience (科学)
T echnology (技術)
E ngineering (工学)
A rts (リベラル・アーツ)
M athematics (数学)



自ら課題を見つけ、解決する
ために取り組む力
↑
これらの社会を自らつくっ
ていく力を育む教育

<やさしく・思いやりのある子>

人権教育の充実:

立場や価値観の違いが、違和感ではなく新たな世界の出会いと感じられるように支援。

社会福祉教育の充実:

地域性(高齢者層)を考慮し、出前授業から身近な課題として思考できるように支援。

→ 地球規模で考え、身近な環境で改善策・行為を試行する。

デジタル・シティズンシップ教育の推進:

責任をもって善き使い手となるように、試行活動とする。

いじめ・自傷行為等非社会的行動に対しては優先して指導するが、他の行動については自分事として約束が築けるようにする。

情報モラル(information morals)は効果が低い。学習指導要領の英訳は、情報モラルを "information ethics" と表記している。情報倫理という視点。

特別活動の充実:

人権教育・道徳教育の視点を取り入れ、自分事とした実践の場を構築する。

道徳教育の充実:

“考え議論する” 道徳科で作成した資料を活用し、改良を進めていく。参考 日本学術会議報告
読書(Arts)の推進:

学校図書館指導員、地域ボランティアとの連携を図り、読書の楽しさ・人文科学的(Arts)
な資質の向上を目指す。 STEAM 教育の一端

<たくましく・自己管理できる子>

体育科学習の充実:

体育科は他教科より個別化された学びを要する教科のため、安全管理を重視しながら、
個人のめあてが達成できるように支援する。(個別の技・取組み)

体力向上に関する活動の充実:

児童会(体育委員会)と連携を図り、教え合いの場を設定し、興味関心向上による教科体
育の充実につなげていく。

安全に関する学びの推進:

発達段階に応じた危険予知能力・判断力を育成する場を設定する。(自己管理)

食に関する学びの充実:

栄養教諭、給食委員会による学びの場を設定し、食育に関する指導の深化を図る。

7 その他

- 改正個人情報保護法は、本日より施行。官民同一法案(2023年4月施行)
- 特設クラブは勤務時間内実施, 運動会練習は体育科8単位時間内のみ(体育科カリキュラム)。
- 従来の羯鼓舞は担任が音楽科・体育科で行う(伝承芸能・未創造を総学で扱うことは困難)
- 総学はSTEAM教育を基盤にしてテーマ(題材)の変更へ。単純な調べ(写し)学習から脱却。
- レクの実施 ※上長(管理職・主任等)に説明を行い, アバイスを受ける。
→ ほうれんそう(報告 連絡 相談) から ほうれんそうほう(報告 連絡 相談 報告)
- 業務・状況改善
 - ▽出退勤管理について, Air 打刻禁止(土日も打刻する) 規則違反の可能性あり
※ 物取り・置き 10分程度の場合は, 打刻をしなくてよい。
 - ▽長期休業時以外の年休・特休処理のルーティーン
校長に口頭申告→教頭にサービス整理簿提出
(→教頭押印後, 教頭が校長にサービス整理簿転送し, 職員室黒板表記)
校長不在(・緊急)時は教頭に口頭申告・サービス整理簿提出
 - ▽外部の方が来室できる部屋の環境改善
職員室:情報漏洩・信用失墜を避けるため, 整頓・清掃。(教務主任)
PCを起動(ログイン)した状態で離席は, 違反行為。(懲戒処分あり)
 - ▽週案(週指導計画)の改善 ※管理訪問あり
個人情報管理(記載の仕方)
 - ▽管理用PCの運用
管理用PCは校長室にて保管(管理簿は職員室保管)
管理簿を持参して校長室に来室し承認後, 端末を受け取る。
処理終了端末返却後, 管理簿を受け取り職員室に収める。
※ 不在の場合は教頭対応とする。
 - ▽共有PC(2台)の運用
IDを保有する技能職・会計年度任用職員は, 共有PCで処理する。
事務室保管機管理は技能職 木嶋さんが行う。
職員室保管機管理は教頭が行う。
 - ▽プール開き等において, 清め(宗教・神道)行為停止。
 - ▽職員会議資料のデジタル化は, スケジューリングとコスト削減・業務量減のために実施。
提案者のスケジューリング能力育成
※ 規定日に提出→提案者以外は1週間前から閲覧でき, 会議時間効率化。
担当者の印刷・綴じ込み作業削減。 ※学習VDIが開けない方の方は担当者が配付紙面を求める教員は, 自身の判断であるため自ら印刷する。
CABINET 外の Cloud 上に保存するものは, 個人名等の情報を全て削除する。